

大和高田市教育環境あり方検討委員会が開催されました

令和7年10月10日(金)に第5回教育環境あり方検討委員会が開催されました。

第5回では大和高田市立小中学校(園)のこれからの教育環境のあり方について(報告案)等について説明を行い、意見交換を行いました。



1. 話し合った内容や意見

○議事

全国的な少子化社会の中でも、「児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、一人ひとりの資質や能力を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」という大和高田市の教育方針に沿った教育施策を遂行するにあたり、将来にわたり適正な規模の児童生徒数を維持し、よりよい教育環境を確保するため、本委員会では(1)望ましい教育環境のあり方、(2)学校の適正な規模及び配置、(3)地域と連携した学校づくり、(4)就学前教育のあり方の4点について第1回から4回に渡り議論を重ねてきました。その内容についてとりまとめた報告書案の確認を行いました。

<主な意見>

議事について以下のような各委員からの意見や質問がありました。(一部抜粋)

- ・幼稚園について「地域間での立地のバランス、建物の老朽化も考慮し」と書いてくれると一番よいが、それができるものかどうか検討してもらいたい。
- ・安全の確保は市民が納得する根拠になりうる。市民はお金がないと思っているから、建替えてくれとはならないが、現状、施設の老朽化が進んでいる状況であるから必要だと伝えやすい。
- ・市で考えている方向性に沿って統合が前に進むかどうかを考えた場合、一番大きな問題は安全に子どもを通わせられるのかどうかである。
- ・見直し後は小学校と中学校で校区が一緒になるから、国が目安とする基準を満たしているので、その基準に準ずるものとする。ただし、支援はしてほしいということで、通学路の安全確保を強く求める、報告書ではそういう感じにしてもらおうとよいのではないか。例えば「強く求める」の中に「保護者の負担がないように」という言葉を入れるのも1つの方法である。
- ・最短で令和 14 年というと来年入学する1年生が中学生になるタイミングで、ある程度は構想を伝えておいた方が先読みしやすいと思うが、説明が間に合わないのではないかと心配もある。

※詳細については別添の「第5回大和高田市教育環境あり方検討委員会議事概要」をご確認ください。

2. 今後のスケジュール

第6回は第5回までにいただいた意見を取りまとめた報告書を提出していただきます。

